

当初
予算

鹿屋・大隅を前進させ、まち・地域の持続的発展を推進する

鹿屋市の新たな10年創造予算

総額 453億4,300万円

施政
方針

豊かさと温もりを実感できる
“市民が主役の明るい未来”

の実現に向けて

雇用と所得につながる産業をおこす まちづくり

産業の振興と雇用機会の確保により、地域経済の発展と活性化を目指してまいります。

【予算額】 18億2,115万2千円

農業・農村サポート事業 769万2千円 **新規**

- 新規就農希望者の研修を受け入れる農業生産法人等へ研修経費の一部として1人あたり5万円を6ヶ月間助成し、独立就農の支援を行います。
(独立就農した場合は、国の事業へ移行)
- 農業所得向上を図る意欲的な農業者を対象に、新規作物の苗購入に対して補助を行います。(10万円を上限)
- 産業用バラの育成を支援するため、バラ苗5,000本購入に対し、購入費の2分の1を助成します。
- かのや農援隊推進員を配置し、本市の農業を応援する「かのや農援隊」隊員の確保を図ります。
- 畑作における輪作を推進するため、10アール当たり1万円の畑地利用支援を行います。

【所管：農林水産課】



食と観光、ツーリズムを活かした雇用
創出サポート推進事業 2,411万円 **新規**

- 観光協会、物産協会、ツーリズム推進協議会及び雇用創造協議会の事務局機能を統合し、観光から物産、雇用まで一体となった事業を実施します。
- 都市圏で物産展を開催し、東九州自動車道や新幹線を利用した誘客を促進します。

【所管：商工観光課】



●主な事業

- 企業誘致推進事業 =5,331万9千円
- がんばる畑作応援事業 =1,464万9千円
- 農地中間管理事業 =1,507万4千円
- 繁殖雌牛早期淘汰促進事業 =2,640万円
- 肉用牛牛舎整備促進事業 =1,500万円
- 漁業経営改善対策事業 =989万4千円
- 地域雇用創出促進事業 (若年者雇用対策) =693万円

かのや農業商社モデル事業 482万8千円 **新規**

- かのや農業商社(仮称)の中核となる、関係機関・生産者等ネットワーク組織を立ち上げ、農業振興を目的とした、川中・川下の要望に対応できる体制を整備し、農産物が低コストで安定供給できる物流システムを構築します。

【所管：産業振興課】

●施政方針
昨年2月に市長に就任して、1年余りが経過したところであります。

これまで私は、時代が大きく変わるうとする中、ここ5年から10年の市政運営が、鹿屋・大隅地域の将来にとって重要な時期になると申し上げてまいりました。

私は、この地域を変えたい、前に進めたいという強い思いの下で、「かのや農業・農村戦略ビジョン」「鹿屋市スポーツ関係施設再配置計画」「総合雨水排水対策事業計画」「子ども・子育て支援事業計画」の策定、再生可能エネルギー可能性調査や、鹿屋市地域経済分析調査の実施など、長期的な視点に立って、様々な計画づくりや調査・研究などに取り組んでまいりました。

今年はこのを具体化する、育てていく一年にしなければならぬと思っております。

●5つの戦略
1 雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり
2 広域連携を積極的に推進するまちづくり
3 笑顔あふれる安心・安全なまちづくり
4 心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり
5 安全で快適に暮らせるまちづくり

●3つの基本方針
○雇用と所得につながる産業おこし
○みんなで築く安心・安全でやさしい地域づくり
○笑顔があふれる元気百倍の人づくり

このようなことから、引き続き鹿屋・大隅地域を前進させ、豊かさと温もりを実感できる“市民が主役の明るい未来づくり”に取り組むため、3つの基本方針に基づき、5つの戦略を更に重点的・計画的に推進してまいります。

《平成27年3月鹿屋市議会定例会 中西茂市長施政方針より抜粋》

●当初予算
平成27年度一般会計当初予算は、3月の鹿屋市議会定例会で議決されました。

総額は453億4,300万円となり、前年度は骨格予算として編成していたため、実質的当初予算である6月補正予算と比較すると、対前年度比で1億1,100万円、0.2%の増となりました。

これは、市民の暮らしと健康を守ることを第一に考えた「鹿屋市の新たな10年創造予算」として編成したもので、基本方針に基づいた5つの戦略を踏まえた各種施策を着実に推進するとともに、喫緊の課題である都市基盤整備や災害対策の強化などにも重点的に取り組むための予算となっております。



施政方針を演説する中西茂市長